

東南アジア諸国の鉱業の現状

③-2

地質相談所

ビルマ

ボードウィン鉛・亜鉛・銀鉱山は その生産計画を国連特別資金によって完成した 錫の産出は10%上昇した

この国のもっとも主要な鉱産物である鉛・亜鉛・銀の65年の生産は 64年とほぼ同じであった。

ビルマ鉱山会社は 北部シャン州において有名なボードウィン鉱山を操業している。この会社は1月に国営化されて 人民ボードウィン工業会社となった。この鉱山に外国の技術顧問の人々が 国連特別資金によって送られてきた。彼等は 現在稼行している場所の近くにさらに追加された数百万トンの低品位の鉛・亜鉛鉱の開発に成功し 低価格にするために改善された採鉱方法を報告し 新しい分別浮游選鉱用粉碎機や鉛製錬所のための計画書と図面が完成され さらにまた 鉱石の改良運搬として鉱山と粉碎機の間にパイプラインが設置されることを報告した。現在浮游鉱法による鉛精鉱は 鉛量1万8千トン 亜鉛精鉱は亜鉛量約8千トンを含んでいる。

錫の出荷は 64年に比べて10%増の600トンであった。鉱脈型の鉱山であるキョウクメダン鉱山と沖積層型のヘインダ鉱山は国営化された錫鉱山であるが これらのもっとも重要な生産者として継続している。沖積型の錫は多くの小規模な経営者によって稼行されていた。

タングステン-錫鉱石は 政府によってマウチ鉱山において稼行された。ビルマは 宝石-ひすい・ルビーとサファイア-の主要な産地としての地位を続けるであろう。

インド

政府は鉱物生産増加に強い政策をとっている 地質調査所は活発に主要金属を探索中である

65年は 前年に比べて生産状況は進歩をした。クロマイト 鉄鉱 マンガン ポークサイト イルメナイト ドロマイト 石灰石 マグネサイトの生産は大幅に増加した。アルミニウム 銑鉄 鋼鉄塊 鉄マンガンも同様に増産された。ドイツの援助によるルールケラ製鉄所 イギリスの援助によるダルガプール製鉄所 ソ連の援助によるピライ製鉄所は 第1期増産計画目標であ

る年産それぞれ180万トン 160万トン 250万トンを達成した。また バカロにおいて初産150万トン(あとで580万トンに拡張される)の製鉄所を設立する契約がインドとソ連との間に署名された。そのほかアングロ-アメリカ技術顧問団は 新製鉄所をつくる場所について調査報告を提出した。

サレム地方のメッターダムにある年産約1万トンの生産能力のあるマドラス アルミニウム会社の工場は 1月から年産約7万トンを目指して生産を開始した。また レニカットにある工場の生産を2万トンから6万トンにあげようとするヒンドスタン アルミニウム公社とアラバラムにある工場の生産を1万1千トンから1万6千トンに上げようとするインド アルミニウム会社の拡張計画はうまく進行中である。政府はインド アルミニウム会社に マイズール州のジャラパティーにおいて3万トンを生産できるもう一つの工場を建設させようとしている。また 政府は アルミニウム生産計画を実行するためにバールト アルミニウム会社をつくることを承認した。コイナ アルミニウム工場生産計画に対して西独の連合会社との間に技術的協定が結ばれ コルバ アルミニウム工場に対する生産計画書作成準備のためにはハンガリーのブタペストにあるケモウ会社との間に契約が改訂された。

ウラニウム鉱石に随伴するニッケルの鉱床は タタナガールの近くのジャサガダ地域にある。鉱石は8%のニッケルを含みウラニウムとともに回収される。

ラジャサン地方のザワーにある金属開発公社の亜鉛鉱山は 亜鉛精錬所の設立を促進するため さらに鉱床を探索するために11月に政府によって接収された。1万8千トンの生産能力をもつザワー亜鉛製錬所は 66年の中頃生産を開始する予定である。年末に 政府は貧弱な埋蔵量しかない鉱物に対して突貫計画をつくった。この計画は 次の3つのおもな目的をもっている。

- 1 非鉄金属の既知鉱床の地質調査を強化する
- 2 アルミ 銅 鉛 亜鉛の生産を促進する
- 3 普通の状態では経済的と考えられない小鉱床から戦略的金属と鉱物を生産する

インドにおける鉱産物の生産量

商 品 名	1963	1964	1965
石 炭	65,956,000	62,440,000	66,664,363
褐 炭	999,000	1,569,000	2,331,272
ク ロ マ イ ト	69,013	34,969	59,840
鉄 鉱 石	15,093,000	15,311,000	16,503,000
マ ン ガ ン 鉱 石	1,117,000	1,304,000	1,440,000
ボ ー キ サ イ ト	567,000	592,000	702,550
イ ル メ ナ イ ト	26,000	12,041	30,500
ル チ ー ル	1,871	1,871	1,309
ダイヤモンド(カラット)	1,432	2,260	4,125
ド ロ マ イ ト	1,093,000	521,000	945,818
石 膏	1,191,000	883,000	1,147,636
螢 石	708	389	242
藍 晶 石	32,085	34,163	34,904
石 灰 石	17,347,000	17,017,000	19,725,818
マ グ ネ サ イ ト	235,066	207,936	234,410
雲 母	25,417	22,806	22,121
パイロフィライト	4,485	6,071	10,617
凍 石	116,495	133,820	144,158
珪 石			
銅	9,582	9,475	9,360
鉛	3,537	3,624	2,905
亜 鉛 (精 鉱)	10,627	10,744	9,705
アルミニウム	55,230	56,667	66,169
鋼 鉄	4,258,000	4,343,000	4,506,000
	117,568	125,733	149,331
セ メ ン ト	9,354,803	9,689,558	11,000,000

1 概算

セイロン

黒鉛とイルメナイトがおもな鉱産物である そのほかには各種宝石の沖積型鉱床が新たに探掘された

黒鉛は この国の主要輸出鉱産物である。輸出業者は ほぼ顔で粉末黒鉛を取引している。

砂鉱開発公社は 約6万トンのイルメナイトを輸出した。選鉱工場からの屑鉱は 少量のルチールとジルコンを含んでいるが 商業的にはひき合わない。高品位のモナザイトが125トン輸出された。少量のパデレ石が モナザイト選鉱過程の間に回収され 年間に2トン船積みされた。また 約50トンのジルコンも回収された。各種の宝石が 川床から探掘された。サファイア ルビー 藍玉 ジルコン 黄玉 金緑石 月長石など約7万1千カラット 価格にして約400万ルピーが輸出された。精製カオリンは 約800トン生産された。約8万5千トンのセメントが 約11万5千トンの石灰石と2万7千トンの粘土をつかって生産された。いまある工場の拡張工事と第2のセメント工場が完成し ともに生産をまもなく始めるであろう。

セイロンの黒鉛輸出货量

年	ロングトン	年	ロングトン
1962	8,630	1964	10,676
1963	8,343	1965	8,740

イラン

鉱石の高値は開発中の鉱山に新しい利益をもたらした 日本は鉛と亜鉛を買った 銅と鉄の探査が行なわれた

65年の探査と開発は 鉛 亜鉛 銅 クロマイト 鉄鉱に集中した。リオ・ティント亜鉛開発公社は 有望な開発計画を推進して大活動した。アメリカメタルクライマックス社とゼロ開発公社とベルギー系のある会社の地質技師もまた国中に鉛と亜鉛の活発な調査を行なった。日本の製錬業者は とくに活発に高品位の亜鉛酸化鉱と亜鉛精鉱をパルマとバマ両社から買った。イラン政府は 1962年以来の鉱物生産量を公表していないので本誌の推定をかかげる。

イランにおける鉱物生産量

商 品 名	1962~1963 注1)	1965 (推定)
石 炭	191,098	220,000
鉄 鉱 石	35,200	45,000
亜 鉛	20,111	40,000
鉛	47,765	60,000
鉛 (インゴット)	1,210	1,200
ク ロ マ イ ト	87,011	95,000
マ ン ガ ン	5,000	4,000
重 晶 石	47,276	55,000
硫 黄	902	1,000
ト ル コ 石	11,972 ²	10,000

注 1. 1962.3.21~1963.3.20 (イラン暦 1341)
2. ポンド

トルコ

アージュリーにおける第2の鉄鋼工場が生産を開始したので それにつれて鉄鉱生産量は新記録となった またクロマイト ボロン マグネサイトはいちじるしく増産された

ほとんど完成したアージュリー製鉄会社新工場の需要をみたすために 65年の鉄鉱生産量はほとんど2倍になった。この国最大のエティバンク鉱山会社は 銅については昨年並 クロマイト ボロンについては かなり増産の実績をあげた。地質調査所 (MTA) は トルコの地下資源を評価するために設立された。MTA の第1期5ヵ年計画は 国内需要に応じられる工業原料鉱物の発見 海外に輸出される鉱物の探査など 国の急速な経済開発に寄与する重要鉱物の探査を第1としている。

65年には トルコの鉱物資源の目録を完成するための地質探査と研究が活発に行なわれた。すなわちエアボン放射能調査 磁気探査 電磁法による研究 2万5千分の1地質図 小縮尺の地質図 地質構造図 重力図 磁気図の作成などである。MTA は65年にはその活動に630万ドルを投資し 次のような鉱物埋蔵量を発見した。

褐炭	1000万トン	アスファルト	300万トン
アルミニウム	500万トン	磷酸塩鉱物	200万トン
岩塩	3億トン	耐火粘土	100万トン
鉛	3万トン	螢石	5万トン
海泡石	60万箱		

トルコにおける鉱物生産量

商 品 名	1963	1964	1965 ¹
クロマイト鉱	283,783	425,981	582,348
粗銅	24,790	25,981	26,300
ボロン鉱物	92,974	129,266	194,645
鉛(精鉱)	3,666	3,354	12,324
亜鉛(精鉱)	4,871	5,686	6,264
鉄鉱	746,587	971,881	1,545,192
マンガン鉱	20,937	29,865	26,715
水銀 ²	10,488	90,141	91,962
アンチモン(精鉱)	2,988	1,776	3,396
硫黄	19,430	22,200	22,300
マグネサイト(精鉱)	18,027	36,748	60,405
黄鉄鉱	97,082	121,523	131,159
褐炭	4,991,762	5,905,579	6,296,268
石炭	6,800,267	7,150,073	7,006,998

1 予想 2 キログラム

イスラエル

銅 磷酸塩鉱物 カリ プロムの増産が行なわれている

鉱量と鉱物を原料にした工業の増産が続き とくに政府所有の鉱山ではめざましい。64年の1月にチムナ銅鉱山会社は生産をあげ事故を少なくし生産費をひき下げた。露天掘から約36万トン 地下から約20万トンの銅鉱が採掘された。この鉱山の埋蔵量は1日3000トン採掘し年産1万4千トンの銅精鉱を生産するとして17年分ある。化学製品と磷酸塩製造会社が化学肥料会社とネヂェフ磷酸塩製造会社との合併によってつられた。オロンにあるロック・ホスヘイト工場は30.3%のP₂O₅を約23万トン生産し輸出は貯蔵分とあわせて30万トンに達した。埋蔵量はオロンでは4千万ないし5千万トン ホアー ハアハアでは1千万トンと推定されている。アラド磷酸塩鉱床は1ヶ月に3万トン(28~30%)を露天掘で採掘している。死海工業会社は66年には年産KCl 100万トンを生産できる蒸発池をつくるために新しい水路を完成するだろう65年の同社の生産量は約42万トンであった。プロムの生産能力は年産1万トンに増加した。アマン式噴霧塔製法による試験工場は年産2万2千トンの良質の塩化マグネシウムと4万トンの塩酸を商業ペースにのせることに成功するだろう。

イスラエルにおける鉱物生産量

商 品 名	1964	1964 ¹
チムナ銅鉱		
1%	448,000 ²	559,000 ³
銅金属	7,755	9,635
磷酸塩鉱物		233,000
カリ		422,000
耐火粘土	(flint clay)	24,720
セメント		1,100,000

1 1964年4月~1965年3月 2 含銅品位 2.01% 回収率 86.1%
3 含銅品位 2.11%銅 回収率 89.5%

オーストラリア

各州において記録的な探査 開発活動が行なわれた

近年における大鉱床の発見 まだ残されている発見の可能性 オーストラリアの政治的 財政的安定性は65年もひきつづいて外国の投資家をひきつけている。大小300のグループ(そのうち90は海外から)がオーストラリアで単独かあるいは組合をつくって開発に従事しており 鉱物開発に係る地方小会社や国 州の部局によってまき起されている熱狂性はすこしも衰えようとしていない。65年における鉱産額は64年とほぼ同様で約5億ドルであった。これまでに決着した各種鉱石の輸出契約はつぎの通りである。

鉄 鉱 325万トン 30億ドル f.o.b.
石 炭 6500万トン 5億4千万ドル
ボーキサイト アルミニウム 2千万トン 3億ドル

浜砂鉄の将来も輝かしいものがあり セメント生産能力も 人口の増加と工業発展に伴ってますます伸びるであらう。

オーストラリアにおける鉱産物の生産量

商 品 名	1963	1964 ¹	1965 ²
金 ³	1,023,970	963,384	950,000
銀 ³	19,641,925	18,452,357	17,000,000
銅 ⁴	112,746	104,642	85,000
鉛 ⁴	410,328	374,867	350,000
亜鉛	351,428	345,441	350,000
マンガン鉱 ⁴	36,061	61,116	90,000
タングステン(精鉱) ^{4,5}	960	996	1,800
錫 ⁴	2,860	3,638	4,000
ルチール(精鉱) ³	183,260	180,035	210,000
イルメナイト(精鉱) ³	200,983	303,792	400,000
ジルコン(精鉱) ³	181,284	184,830	210,000
鉄 鉱 ³	5,514,562	5,668,520	6,000,000
ボーキサイト ³	354,206	839,752	1,100,000
黒 炭 ³	24,857,000	27,402,270	31,300,000
褐 炭 ³	18,457,000	19,033,430	20,500,000
セメント ³	3,066,000	3,566,000	3,850,000

資料は キャンベラにある地下資源・地質・地球物理局による 1 改訂を要する 2 概算 3 オンス 4 ロングトン 5 WO₃含有量